

件名	令和4年度第3回小千谷市地域公共交通協議会	第 回
		前回 令和4年6月28日
日時	令和4年9月22日(木) 10:00~11:25	
場所	小千谷市役所大会議室	
出席者	委員17名中14名 別紙委員名簿のとおり	
	代理出席:羽鳥委員(代理:伊藤正樹氏)	
	欠席:吉田委員、瀧澤(秀)委員、玉巻委員	
	事務局(観光交流課) 大平事務局長、大平事務局長補佐、安達係長、吉田	
	調査業務委託事業者(株)ケー・シー・エス 長浜、永野	
配布資料	別紙のとおり	
	<p>大塚会長進行</p> <p><b>○議事1:協議事項 小千谷市地域公共交通計画作成に係る調査内容について</b></p> <p>委託事業者:【資料1】【資料2】説明。</p> <p>委員:資料2について。確認だが、3ページに「JR上越線・飯山線が上下ともに17本運行」と書いてあるが、3駅ともに17便あるのか。</p> <p>委託事業者:小千谷駅の数字。修正する。</p> <p>委員:4ページ。市内8路線のうち5路線しか記載しなかった理由は。</p> <p>委託事業者:現時点で保有しているデータによる資料。今後、全路線のデータ提供をお願いし、詳細に整理したい。</p> <p>委員:同じく4ページ。1便当たりの利用者数だと、減便したら増える。ほかのページでは利用者数だが、このページだけ1便当たりになっているので、1便当たりの指標があってもいいとは思いますが、単純に利用者数でいいのでは。</p> <p>委託事業者:限定的なデータの中で作成したため、今後整理していきたい。</p> <p>委員:7ページ。R2年の支出額だけ下がっている理由は。</p> <p>委託事業者:具体的な使いみちなどは改めて整理する。</p> <p>委員:次の機会までにお示しいただければと思う。</p> <p>会長:ご指摘いただいた部分を含め、計画策定にはもう少し整理させていただきたい。計画策定の根拠にあたっては、資料編の部分がより細かい内容になっていく予定であるため、その際にはみなさまにもう少し整理したものを先にお出しさせていただければと思う。</p> <p>副会長:①資料2の6ページ。水色の25人未満は0も入るように見えるが、白が0では。また、水色をもう少し細かく分けた方が、空白地の把握に役立つと思う。</p> <p>②7ページ。R2年の支出が減っている話は、市だけの話ではなく、補助金が減っているとかもあると思う。収入や補助金分かる内容の方がいいと思う。</p> <p>③4ページ。路線ごとの平均を足しても意味がない。もう少し適切な図の方がいいと思う。</p> <p>④資料1の3ページ。調査の回収目標を50%としているが、今まで50%いつているのか。</p> <p>⑤15~19歳の人口比率に対して、配付票数の比率を厚く盛っている意味は。高齢者を厚くするのは分かるが、なぜ若年層なのか。また、車で移動している人がほとんどの20~64歳の人に聞いて、どういうことを知りたいのか。</p> <p>委託事業者:①~③の資料の整理については承知した。</p> <p>④回収目標は、過去の実績よりも高く見積もっている。スマホを活用しながら回収率向上を図りたい。</p> <p>⑤最終的に調整を図りながら設定していきたいが、通学等について移動手段を</p> <p style="text-align: right;">(裏面に続く)</p>	

持たない方々がどのようなところに改善を望んでいるのかということ把握する必要があると思って設定した。20～64歳の方は車が利用主体となっているが、その中から公共交通に転換できる可能性のある方がどれくらいいるかということ把握していきたいと思っている。市の将来的な人口動向を見ていくと、ある時点から高齢者も減少していく。高齢者を中心に利用促進を図るのも、いつか限界が来る。20～64歳の利用の可能性を今のうちに把握しておきたいということになっている。

調査票の最終的なボリューム等は市と調整して設定していきたい。

副会長：これまでの回収率はどれくらいか。

委託事業者：弊社の近年の実績は42%くらい。弊社のスマホ回収実績としては、8%前後上乘せてきている。

副会長：世帯に撒いたらコスト変わらずに票数を増やせるのではないか。

委託事業者：前向きに検討させていただく。

委員：資料1参考資料2ページ。自分の場合、「最も多いお出かけ」は通勤だが、「目的施設名」には勤務先を書かせるのか。

委託事業者：どういうところに移動しているのかを知りたいということが意図だった。勤務先を書くことに対しては抵抗を持たれる方が多いと思うので、注釈を入れながら、通勤の場合は地域をお書きいただくというようにしたい。

会長：ほかにないようであれば、後ほどまた振り返りながらお聞かせいただければと思う。4月の第1回協議会でもお聞きしたが、地域的な課題がまたいろいろ出ていると思うし、事業者側から見た課題を確認させていただきたいので、順にご意見をお聞かせいただきたい。

委員：小千谷～片貝～長岡線が走っているが、高梨・五辺との行き来がなく、一帯の地域なのに交流ができない状況。そういったところを見直していただきたいと思っている。現状で伺いたいのが、バスと鉄道の乗り継ぎの関係。片貝は信越線が近いので、バスで来迎寺駅まで行って鉄道に乗り換えているが、乗り継ぎの状況がどうなっているかも示していただけるとありがたい。

会長：どうしても市町村の計画なので、小千谷市域以外の来迎寺駅のことは書いていないが、接続が必要だと思うので考えさせていただく。

委員：南部地区の配布数が少ない。無作為抽出で運悪く公共交通を使っていない人に当たると、何を取っても0になる可能性が出てくるのではないかと心配している。私は生活支援コーディネーターもやっていて、公共交通に対する問題解決の研究もしている。周辺部は一家に何台も車があり、こういう調査をしていると公共交通を利用している人はほとんどいないので、調整してほしい。

会長：各地域で今までアンケートを取っていただいているので、活かせる数字があれば使わせてもらいたい。

委員：列車時刻になると、小千谷駅前に迎えが来る。これが非常に悪循環に陥っていると思うのは、上手く乗り継ぎが合わないのかなと思っている。車を持っていて駅までの送迎ができる人が多く、公共交通機関を使わない。それに子どもたちが慣れてしまっている。上手く改善する方法はないかと常々思っている。

委員：西小千谷地区はほとんどが網羅されているので、そんなに課題はない。歩いて用が足せる。ただ、本当に公共交通機関を使う場合は、小千谷駅までのアクセスは考えて行かなくてはならない課題だと思っている。低年齢層と高齢者の運転ができない方は、歩いて行ける方と公共交通を使う人に分かれるので、その部分だけ。アンケート50%回収を目指すと言っているが、+αの付帯をしないと出してくれないのではないかとと思っている。どういう形で取り組むのか考えがあれば聞かせていただきたい。

会長：小千谷市の市民性というか、ワクチンの接種率を見てもそうだが、これまでのアンケートも真面目に答えていただいているという実績がある。工夫を凝らして回収率を上げるように考えていきたい。続いて事業者の方にお聞きしたい。

委員：コロナで乗車人数の減少が多く見受けられる。小千谷市だけでなく全体。燃料費高騰もあり、経費が上がっていて経営は苦しい。また、運転手不足も問題になっており、バスの本数をなかなか増やせない。公共交通の使命もあるが苦しいところ。JRとの乗り換えについては、3月のJRのダイヤ改正に合わせてバスの方も調整したいと考えている。

委員：タクシーもガソリン代の高騰、利用者の減少ということで、大変な経営状態となっている。乗合タクシーを2路線持っているが、経費がかかって大変だと思

っているが、交通弱者が相手なので、これからも努力していきたい。力添えをお願いしたい。

会 長：乗合タクシーはデマンド型に近い予約型で対応している。乗っていただかないと継続が難しい。続いて行政側の立場で道路管理者の意見をお聞きしたい。

委 員：県管理道路の維持管理・整備をしている。公共交通に限らず、市民のみなさんからの道路等の改善要望を数多くいただく中で、優先順位を決めながら整備を進めている。引き続きご協力をお願いしたい。

委 員：同じく市道の維持管理をしている。毎年町内会からご要望をいただき、優先順位をつけさせていただいて維持管理しているが、降雪前に向けてこれから工事を進めていきたいと思っている。町内から情報をお寄せいただいているが、8/1から小千谷市の公式 LINE で道路の損傷を通報するシステムを導入したので、地域の方々に広めていただけるとありがたい。

会 長：アンケートの中に免許返納の事項もある。事故の状況も踏まえてお伺いしたい。

委 員：免許返納は今、落ち着いている。ある程度返納が済んだのか、控除が打ち切りになったからか、申請者は2,3件/日くらい。本人の状況などを考え、家族でよく相談して申請されるのがいい。何が何でも返納しなければならないわけではないし、身分証明書としても使えるので、よく考えて返納してほしい。返納後に身分証明書として使える証明書もあるが、お金がかかる。

会 長：元気な高齢者の割合が、当市は全国的に高い。畑仕事に軽トラが必需品だったりする特性もあるので、免許返納の部分にも特徴が出るかもしれない。

委 員：アンケートの目的を私なりに考えると、「公共交通を使っている人には引き続き使ってほしい、使っていない人は使ってください」というものだと思う。それぞれに、「ここがこう変わりました。なので、ぜひ使ってください」という呼びかけができるようなアクションが計画のあとにできるといい。使っている方の意見を汲めるといい。無作為だとどれくらい汲めるのか。地域振興の点から、JR・バスを使って小千谷に遊びに行きましょう！という情報発信も始めた。

委 員：連合は40代がほとんど。子育て・親の介護世代。連合小千谷支部としても自治体要請活動というものをやっていて、こういう内容も含まれているので、10月中に要請活動をさせていただこうと考えている。今回の内容については、私たちもいろんな方から要望や課題を聞くが、一番多いのは、路線はあるが、ちょうどいいのがないから車で行くという話をよく聞く。ただ、年齢層が40代だからそういう声が多いのかと思う。現状把握のためのこういった調査は非常に重要なのかなと思っている。地域的にも年齢的にも平均的に平等にデータを取ることが必要なのかなと思っているので、結果を楽しみにしている。データの結果を得て、小千谷市が将来どうなりたいたいのかというのをあわせて対策を取っていただけるとありがたい。ただ単に要望が多いからそれに対応するというのではなく、将来像を見据えた対策を考えてほしい。

会 長：会社でノーマイカーデーをやっているところがあったが、最近はあまり聞かなくなかった。実際どうなのか。

委 員：自分の働き方、多様な働き方という時代になってきたので、ほとんどがマイカー通勤になっていると思う。

会 長：企業側にも聞きながら、公共交通の利用者を増やすための何かを見つけて行ければと思う。

現状把握の点はもう少し整理させていただくが、アンケート調査については、対象者の把握の比率等整理させていただきたい。乗降実態調査・バス路線ヒアリング調査はできるだけ直接聞くということで確保させていただく。

副 会 長：例えば高校生にはホームルームの中でやってもらったり、高校生を通して親に書いてもらったりすると回収率が上がる。連合のみなさんや市の職員に web にアクセスして書いてもらおうとか、そういうので補って、その分を人口の少ないところに集めて、あまり統計的なものは気にせずに行っていただければと思う。

委託事業者：参考にする。

会 長：内容は事務局でもう一度整理させていただき、ある程度の完成品となったらまたみなさまにお示しさせていただいてご了承いただくということで、会長・副会長に預らせていただくことでよろしいか。

(裏面につづく)

- 委員：真人・東山・岩沢地区は公共交通だけではないがアンケートをしているので、ぜひとも活用していただければありがたい。
- 会長：データとして活用させていただく。
- 副会長：公共交通ネットワークとして、鉄道、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、高速バス、タクシーと書かれているが、データは鉄道、路線バス、乗合タクシーだけなので、コミュニティバスはぜひ入れていただきたい。できれば高速バスとタクシーも入れていただきたい。
- 会長：そこを踏まえて修正をお願いしたい。

### 会長、副会長へ修正一任・承認

#### ○議事2：報告事項 路線バス運賃の見直しについて

事務局：【資料3】説明。

また、資料はないが、同じく10月1日から変更となる事項があるのであわせて報告する。「小千谷－浦柄－岩間木－塩谷線」の一部の便の発着場所を、小千谷総合病院から小千谷車庫前に短縮する。

会長：国から認可を受けている上限運賃の範囲内ということで、報告事項とさせていただいた。それを超えるような運賃改定や路線変更など、協議しなければならない案件があれば、協議会で協議させていただきたい。また、見直しによって利用者が減るといような心配もしなければならないと思うが、次の段階で把握できるところは把握していきたいと思う。今の説明でご質問などがなければ、よろしいか。

### 異議なし

( 閉 会 )

以上